

トレックス・セミコンダクター株式会社

合同個人投資家セミナー



私たちトレックス・セミコンダクターは

小型化・省電力化で

豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献します

2016年11月30日

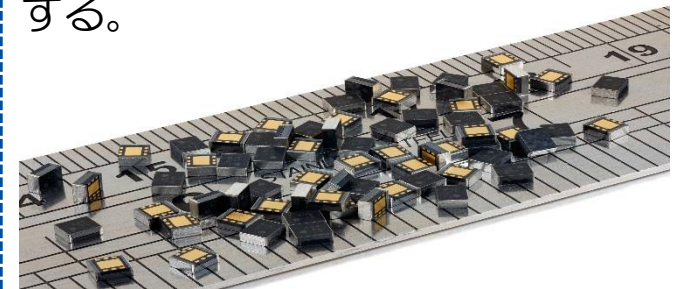
- 2014年4月にJASDAQスタンダード市場に上場、その1年後の2015年10月に東証二部に市場変更した、創業21年の半導体メーカーです。

アナログのチカラ

ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 秀和第2新川ビル
代表者	代表取締役会長 藤阪 知之 代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	18億2061万円（2016年9月30日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：164名 / グループ：1,002名
上場証券取引所 及び上場日	東京証券取引所 市場第二部 2015年10月15日
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



1

プレゼンターのご紹介

2

事業、強み、今後のビジョン

3

業績動向と株主還元方針

【前提】

できるだけ多くの個人投資家の皆さまに継続して
応援していただきたい。



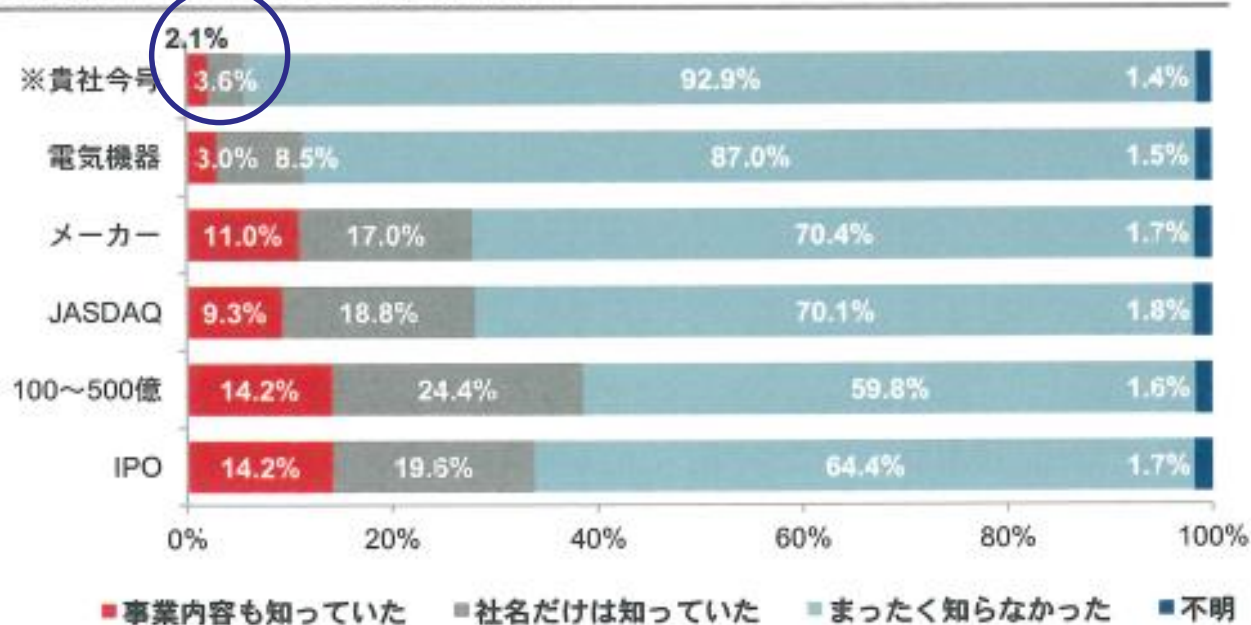
どうすれば・・・

個人投資家の皆さまの“声”として、IRマガジ
ン 2014年夏号の読者アンケートの結果を元に、
これまでIR活動を実施してまいりました。

Q. 当社を知っていましたか？

A. 知っていた **5.7%**

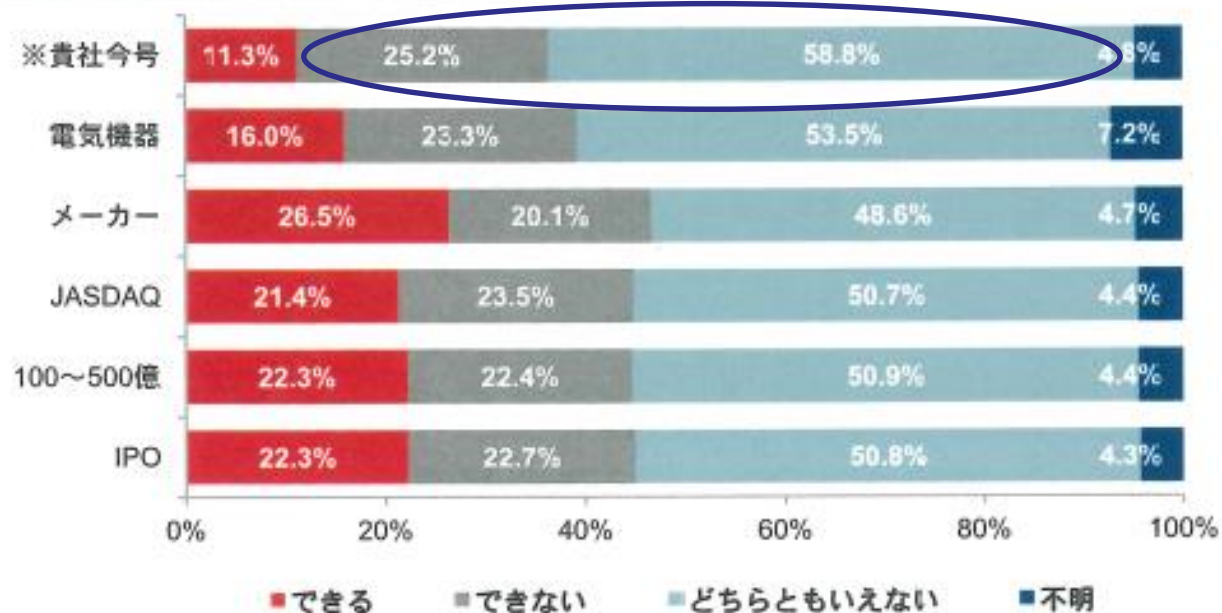
過去掲載企業の平均との比較(分類別)



Q. 今後、投資の候補銘柄として考えることができますか？

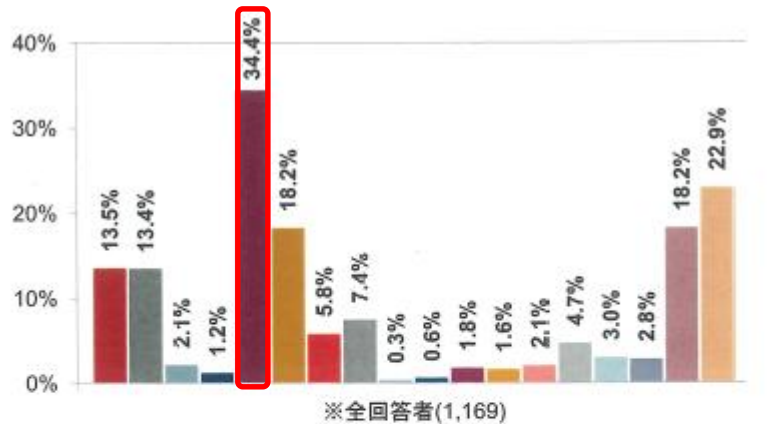
A. できない&どちらとも言えない **84%...**

過去掲載企業の平均との比較(分類別)



理由：事業内容・業界がわかりにくい

・できない理由



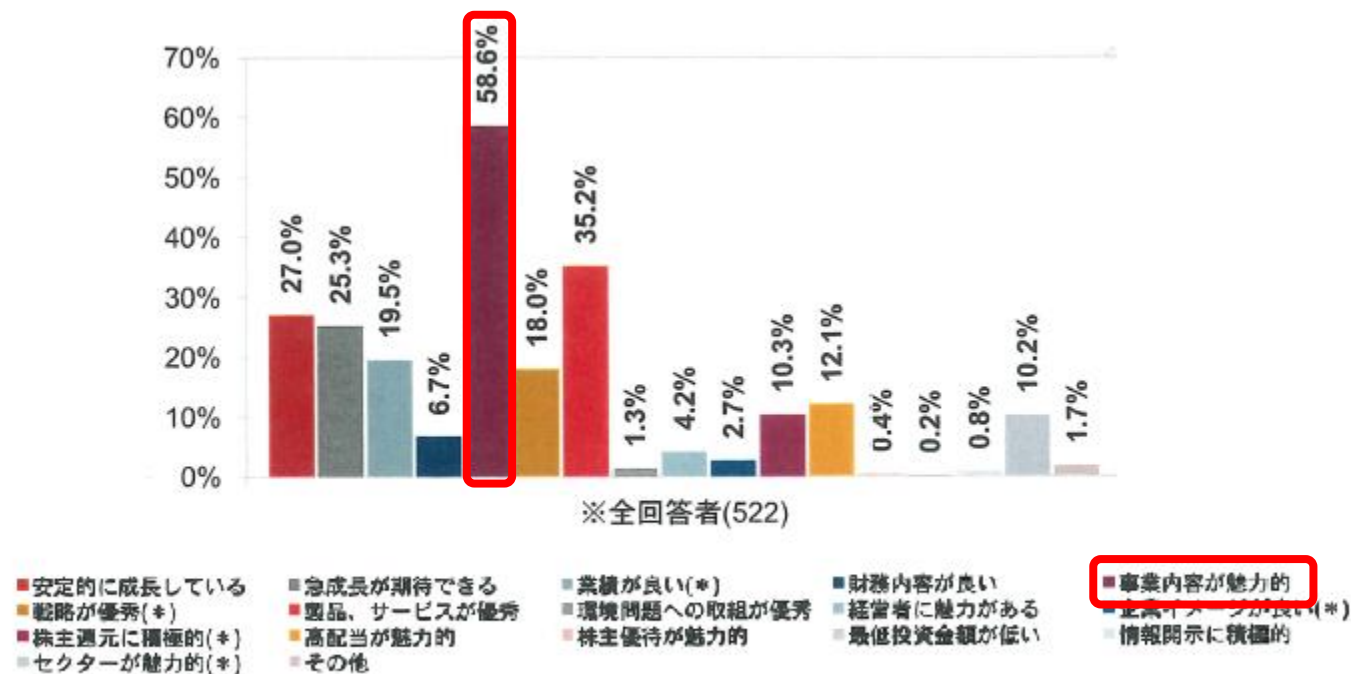
- 安定性に欠ける
- 事業内容がわかりにくい
- 環境問題への取組が遅れている
- 配当が低い
- セクターが魅力的でない
- 成長性に期待が持てない
- 事業内容が魅力的でない
- 経営者が魅力的でない
- 株主優待がない
- その他
- 業績が低迷している
- 戦略に期待が持てない
- 企業イメージが良くない
- 最低投資金額が高い
- 財務内容が良くない
- 製品、サービスが魅力的でない
- 株主還元が少ない
- 情報開示に消極的

・どちらとも言えない理由

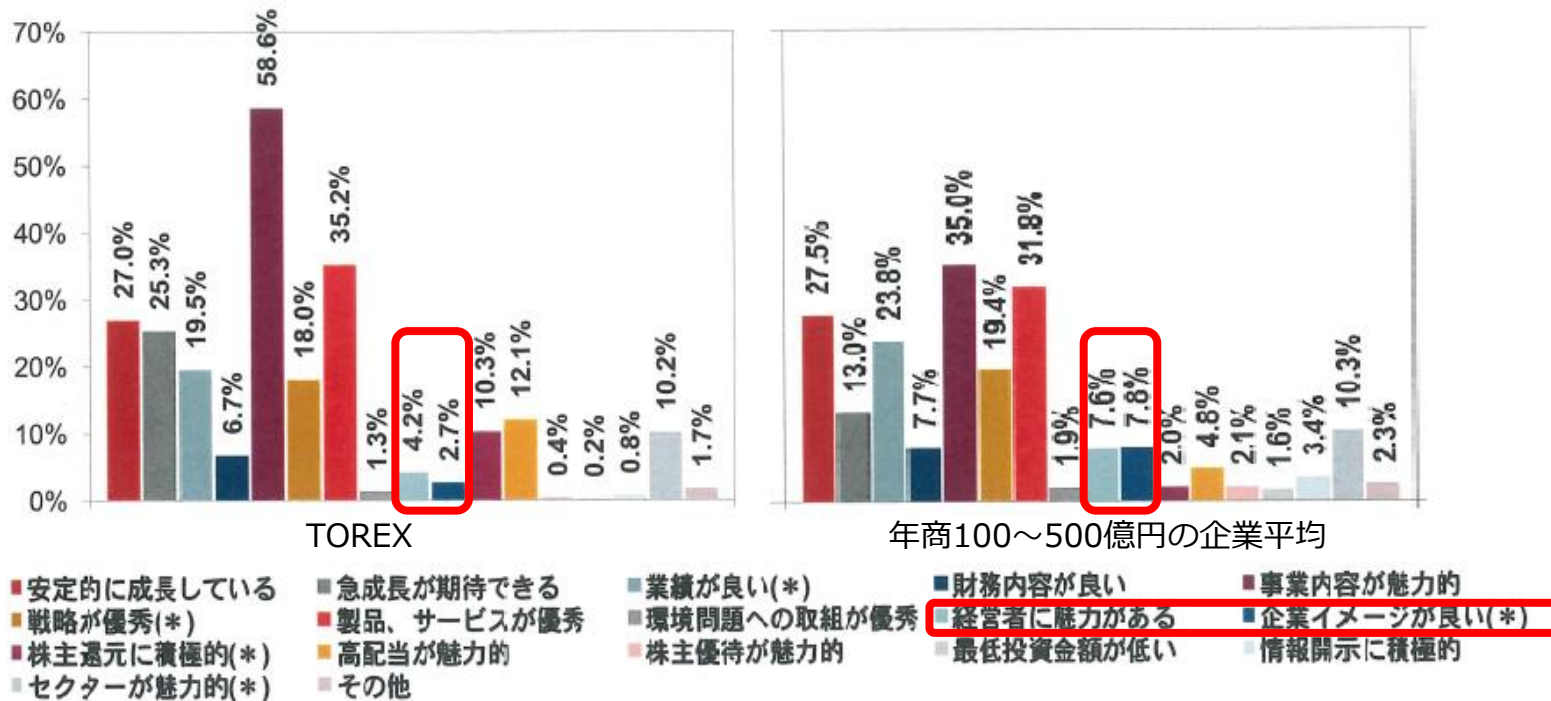


- 情報が不十分
- 業界動向を詳しく知らない
- 事業内容がわかりにくい
- もう少し様子見
- 株式市場全体が低迷
- 他に優先したい企業がある
- 資金に余裕なし
- その他

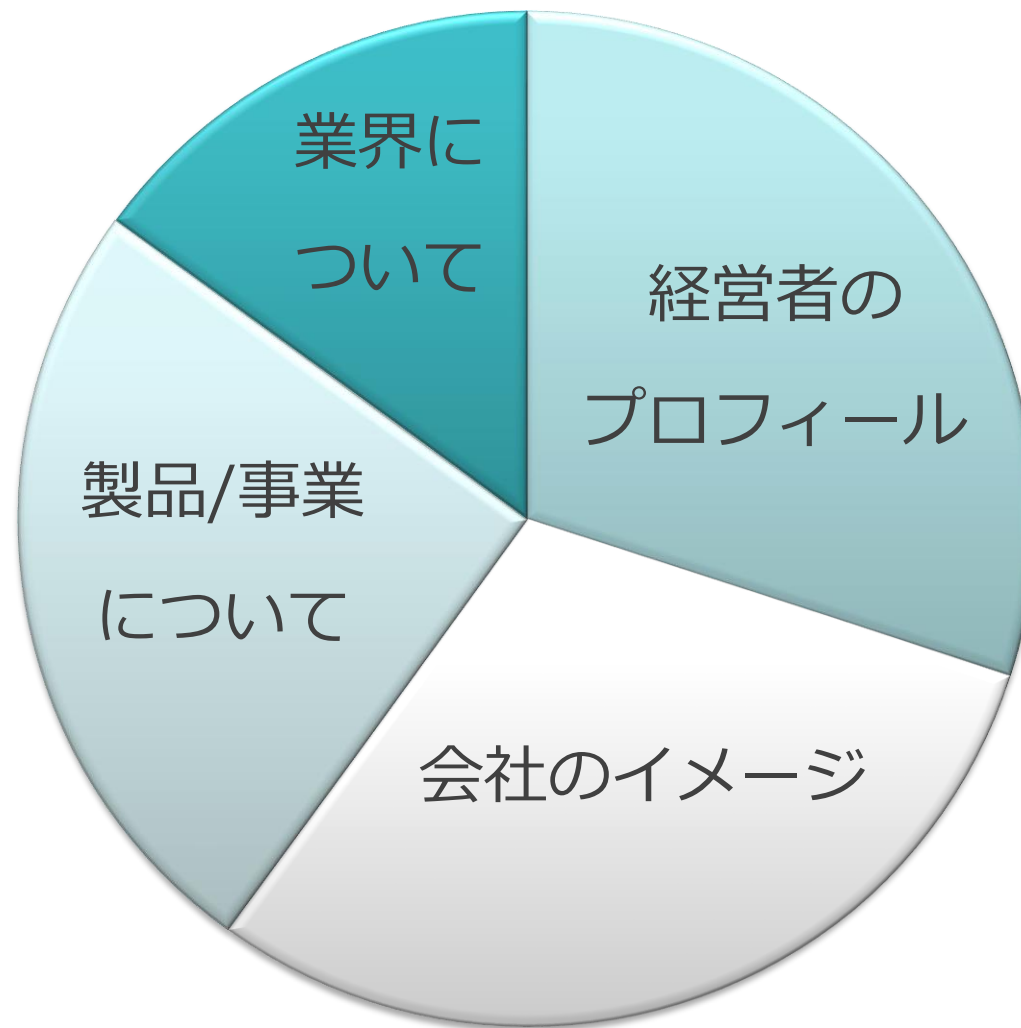
投資候補銘柄になる一番の理由 : 事業内容が魅力的



投資候補銘柄になる理由において 企業イメージ・経営者の魅力が低い



本日お伝えしたいこと



【特別企画】トレックス・セミコンダクター

野を突き詰めてきた「IC」のこのような開発・営業の一体化という体制が、つくりだした「顧客の高い信頼感」を背景に実現しているのだ。

電源ICの高性能化に伴い、今後さらに、「小型化」「低消費電力化」が求められる。加えてさまざまな種類の「電源IC」の需要が見込まれる。技術・営業、混成型のプロフェッショナル集団を有しているトレックス・セミコンダクターは、その強みを活かして、業界の要を取り込み、グローバルに堅実な成長を図っていく考えだ。

海外メーカー同様の高い利益性を目指す

半導体メーカーに対して、市場の先行き不透明感を懸念する声もあるだろうが、業種のことろ、トレックス・セミコンダクターが属しているアナログ半導体市場は、全体で4兆円におよぶ十分な規模であり、さらに2014年現在も拡大基調にある。特に「アナログ電源IC」市場

は、半導体以上に成長率の高い市場であり、全体として8700億円規模となっている。

同社は「アナログ電源IC」の市場において、約1%のシェアであるが、この市場は寡占市場ではなく、絶対的な強者が存在していません。市場占有率拡大の余地は大きいと言える。そこでトレックス・セミコンダクターは、2%、3%といったシェア拡大を狙っている。

また、この市場の特徴として、「アナログ電源IC」に特化した事業展開を図っている海外メーカーが、いずれも20%を超える高い利益率を誇っていることが挙げられる。当然、トレックス・セミコンダクターもこれらの総合メーカーと同様の高い利益率を達成することは十分可能だと考えている。

同社は2010年3月期、為替変動の影響を大きく受け、過去最大の赤字を計上した。しかし、その後、車載機器と産業機器市場へ積極的な

TOIREX

【特別企画】
**唯一世界で戦える
日本の電源
ICメーカーです!**

トレックス・セミコンダクター

2014年4月8日、
ジャスダックに上場したトレックス・セミコンダクター。
「電源IC」に特化した唯一の国内メーカーとして、
安定成長を続ける同社。「身近」「高利益性」「高配当」という
3つをキーワードに、同社の魅力と特徴を紹介する。

代表取締役社長
藤阪 知之



6616 トレックス・セミコンダクター

実は身近な「電源IC」

「電源IC」…聞きなれない言葉であるが、テレビやパソコン、携帯電話やスマートフォンなど、すべての電気機器に使用されている半導体であり、実はとても身近な存在である。電気機器の心臓ともいえる重要な役割を担う「電源IC」の開発・販売を専業としている国内唯一のメーカー、トレックス・セミコンダクター。その始まりは、携帯型ステレオカセットプレイヤー向けの「電源IC」の製造・販売からだった。電気機器の小型化や携帯機器の成長を想定し事業をスタートした同社は、「電源IC」の「小型化」と「低消費電力化」の技術力強化に注力。その後、培った技術力を基に、携帯電話・携帯型ゲーム機、デジタルカメラなど、モバイル機器の進化とともに事業を拡大し、成長を遂げてきた。

さらに同社の成長の源泉となってきたのは、技術力に加え、独自の営業体制。専門の営業部隊を持たず、開発技術者自身が顧客を訪問、ヒアリングし、回路設計にまで踏み込んだソリューション型の提案を行っている。専業メーカーとして1つの分

ビジネスを展開し、利益率が改善し、為替変動を牽引している通商化を実現できる体制へと変革し、V字回復を見せている。今後さらに、車載機器と産業機器、そしてウェアラブル機器関連（下記「Pick Up」参照）に注力し、海外メーカー同様の利益率向上に向けた取り組みを進める。

安定的な配当

トレックス・セミコンダクターは、株主還元を基本的な考えとして、以下の3つを挙げている。①業績に連動した利益還元 ②配当性向年間20%以上の実現継続 ③中期経営計画の達成による中期的な企業価値の向上、それぞれ目指している。

2015年3月期の配当は、上場記念の配当20円を含め、年間一株当たり100円を実施する予定だ。今後も充実した株主還元を期待したい。

Pick up!

【ウェアラブル機器】ここにも「電源IC」!

身に付けられる次世代の携帯端末として話題の「ウェアラブル機器」、メガネ型のスマートグラス、時計型デバイス、さまざまな形状があり、それぞれ独自の機能を備えた製品が開発され、注目を集めている。こうしたウェアラブル機器にも、トレックス・セミコンダクターの電源ICはすでに採用されている。今後、さらなる進化と市場拡大が予想されるウェアラブル市場をリードして、同社は「小電力」「低消費電力」の強みを活かして、成長市場の取り込みを図っている。

トレックス・セミコンダクターの製品が採用されているリストバンド型ウェアラブル機器「スマートウォッチのアリ」と運動計、睡眠・食事・運動などの一気監視が可能

さらに詳しい情報はコチラ▶ トレックス・セミコンダクター IR 検索

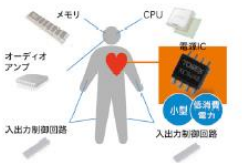
売上高および営業利益の推移



●電気を必要とする機器すべてに、複数の電源ICが使用されています



●電気機器のさまざまな機能を動かすために必要な電力を供給



*1 トレックス・セミコンダクター調べ(2013年) *2 IHS iSuppli調べ(2013年)



昭和18年8月16日 広島県福山市生まれ

昭和41年3月 東京理科大学理学部応用数学科を卒業後、福山電波工業高等学校（現 近畿大学附属福山高等学校）にて教諭として勤務

昭和44年4月 興譲館高等学校 教諭を経て、昭和45年4月にシンコー電器(株)入社

昭和62年7月 同社取締役役に就任

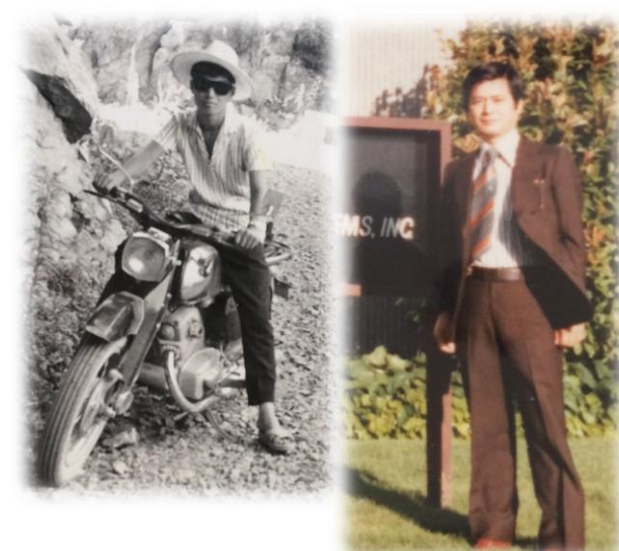
平成7年3月 トレックス・セミコンダクター(株)取締役役に就任

平成11年3月 当社専務取締役

平成14年6月 当社代表取締役社長

平成27年6月 当社代表取締役会長

趣味：料理、読書

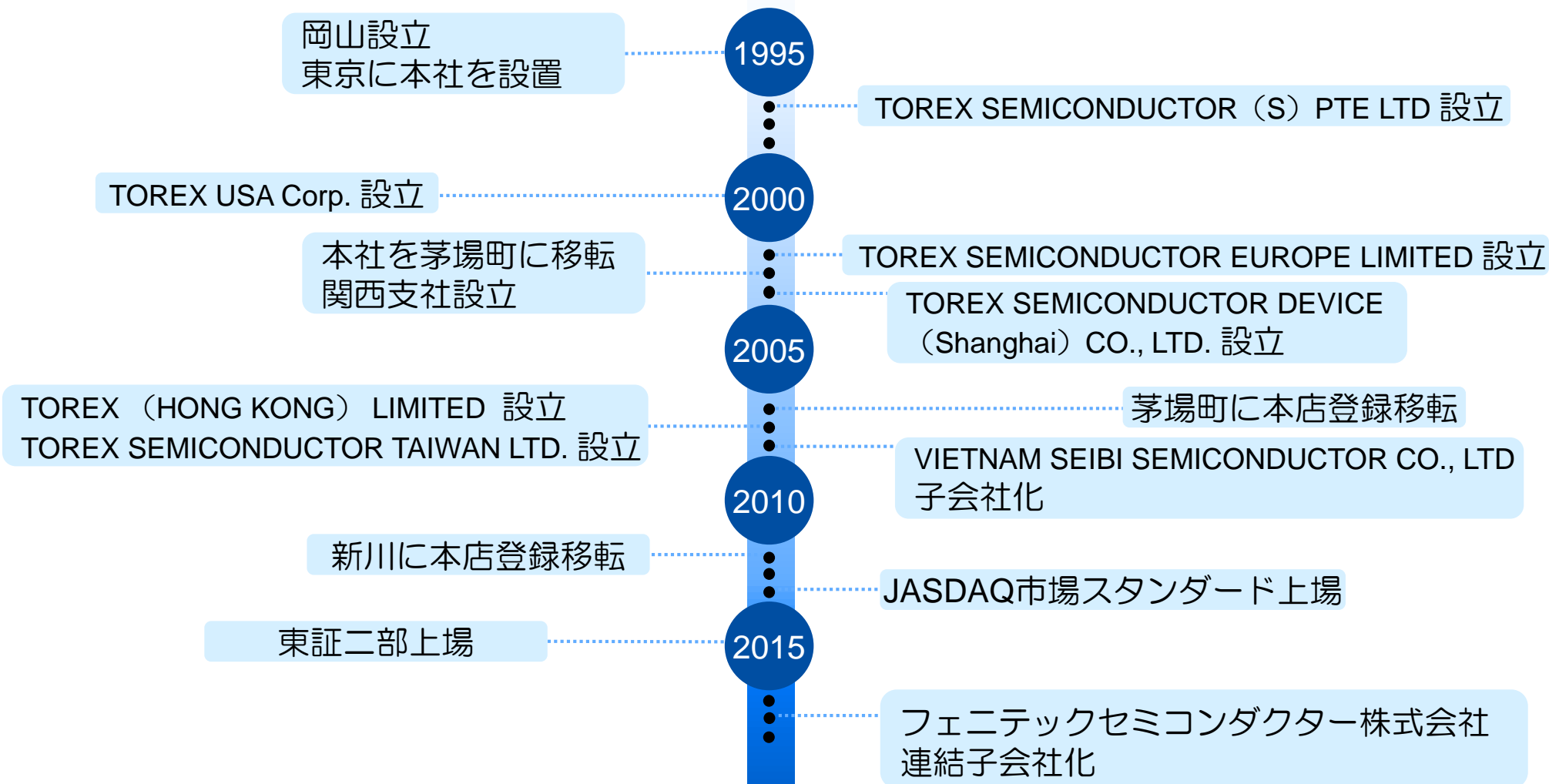


本日、私からは、

- ① 当社のあゆみ・事業にかける思い
- ② 当社の製品と強み
- ③ 当社の事業環境

について、お話をさせていただきます。

- 電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業技術の発展に貢献してきました

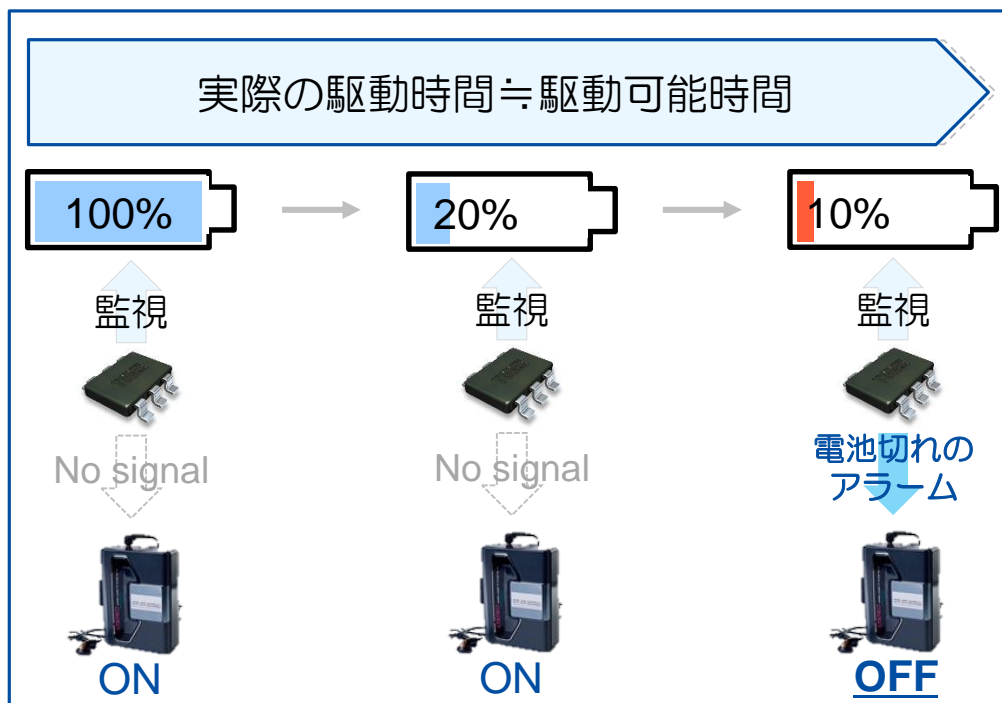
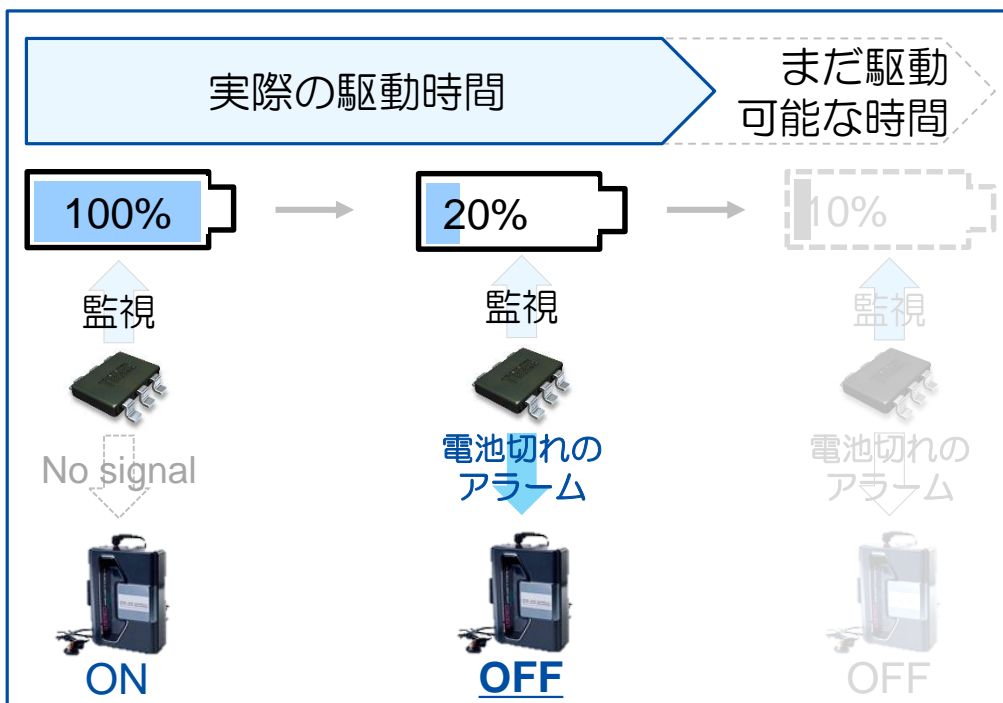


どのように貢献したのか？

- 電池に特化した電源ICを開発、その技術を大手電気メーカーに認められたことがトレックスの名を世に広めるきっかけとなりました。

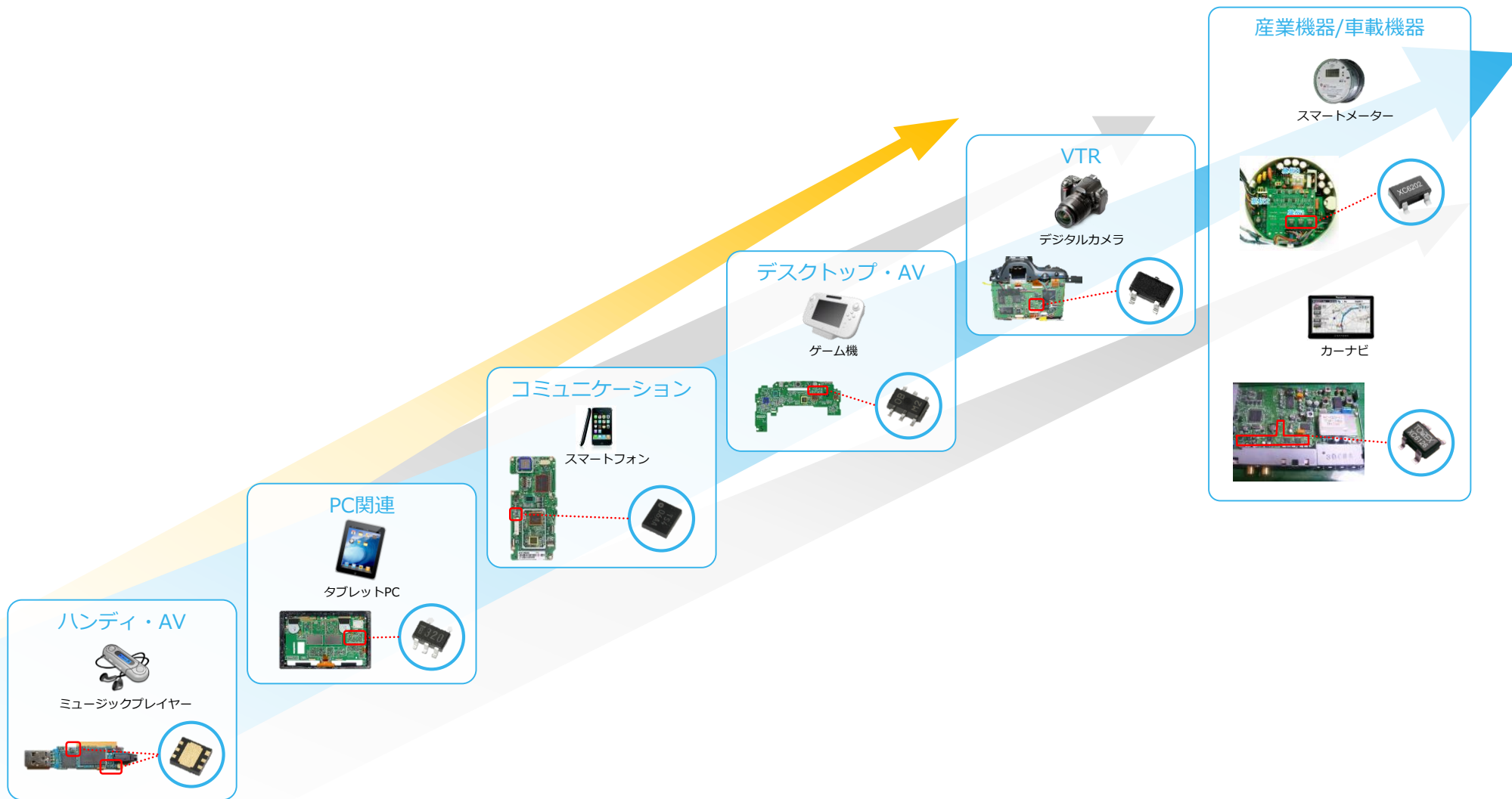
従来品

TOREX製品



電池をギリギリまで使用することが可能になり、**カセットプレーヤーの部品に採用**されました

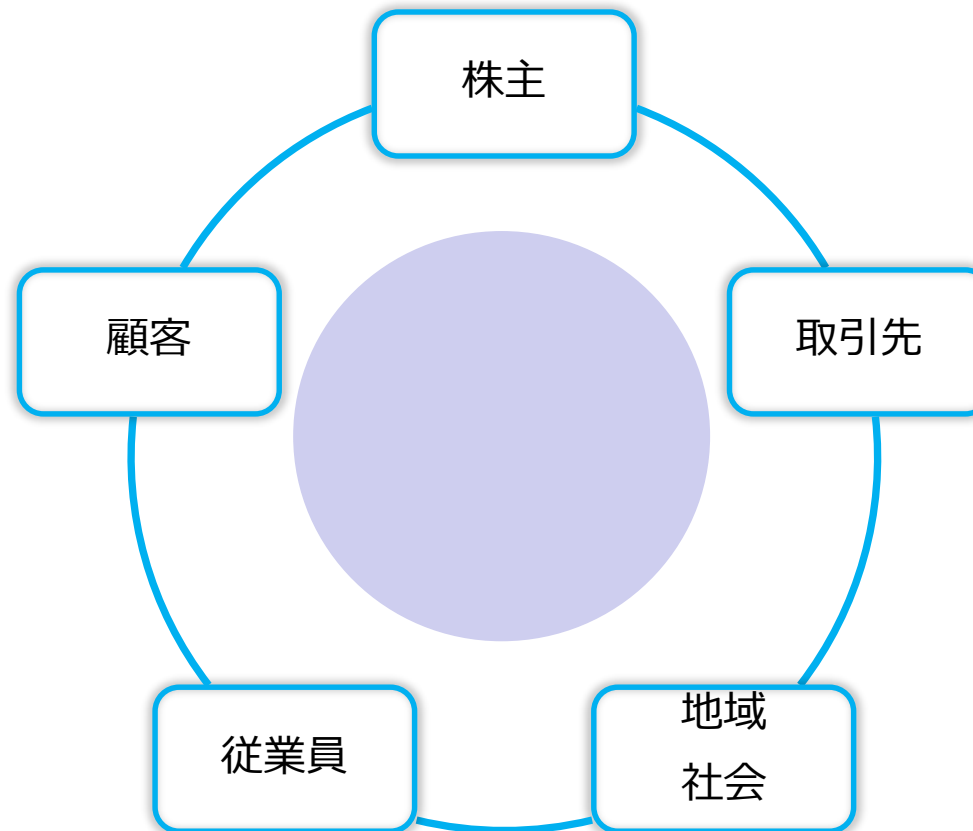
✓ 電気を必要とする機器には **すべて** 電源ICが使われています



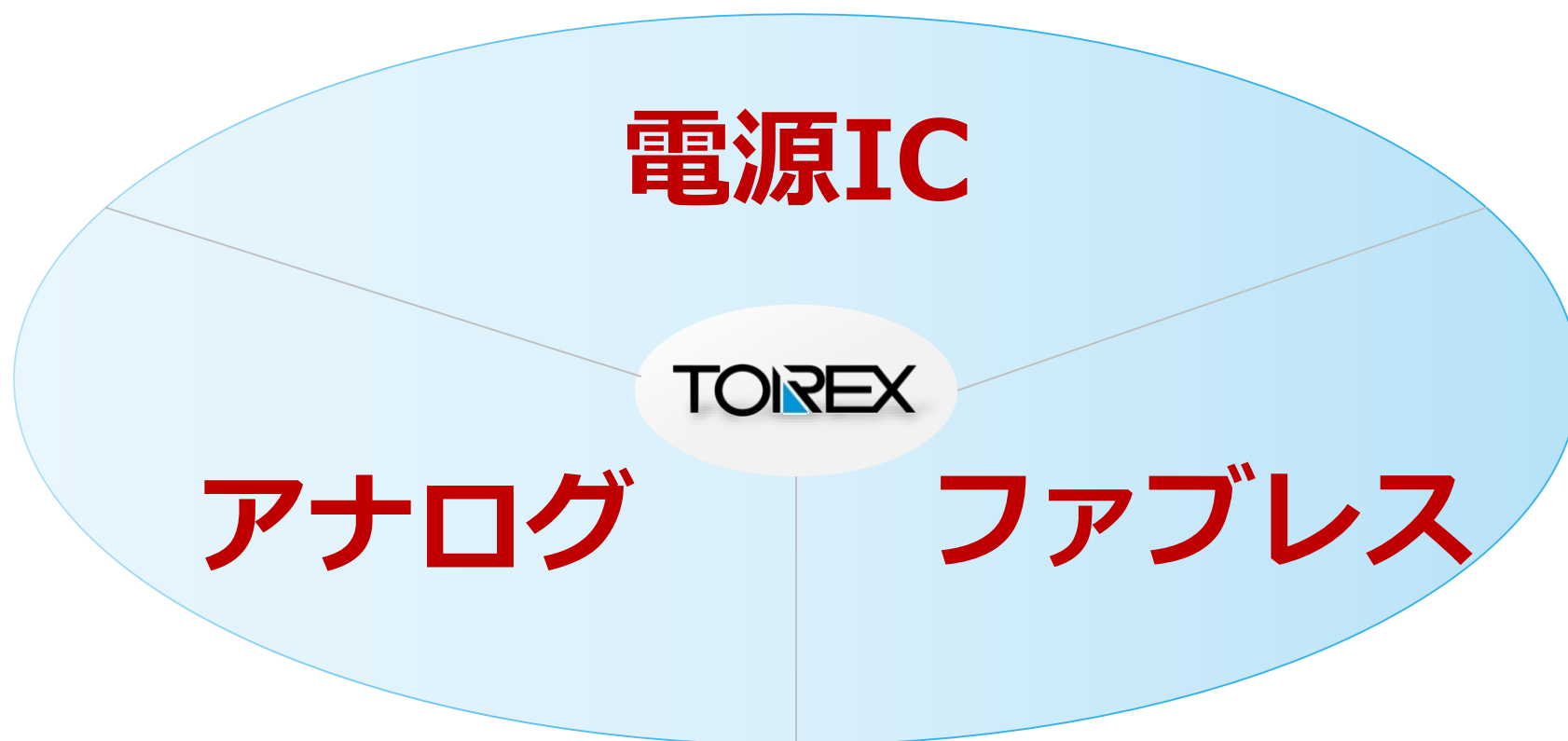
- 身近なものから真新しいものまで、あらゆる電子機器に採用されています。



- 電気機器の**小型化・省電力化**に“電源”の観点から貢献することを通じて、ステークホルダーとの関係を尊重した、世界に存在感のある企業を目指します。



当社のキーワードは **3つ**



「電源IC」ってなに？

電源IC？

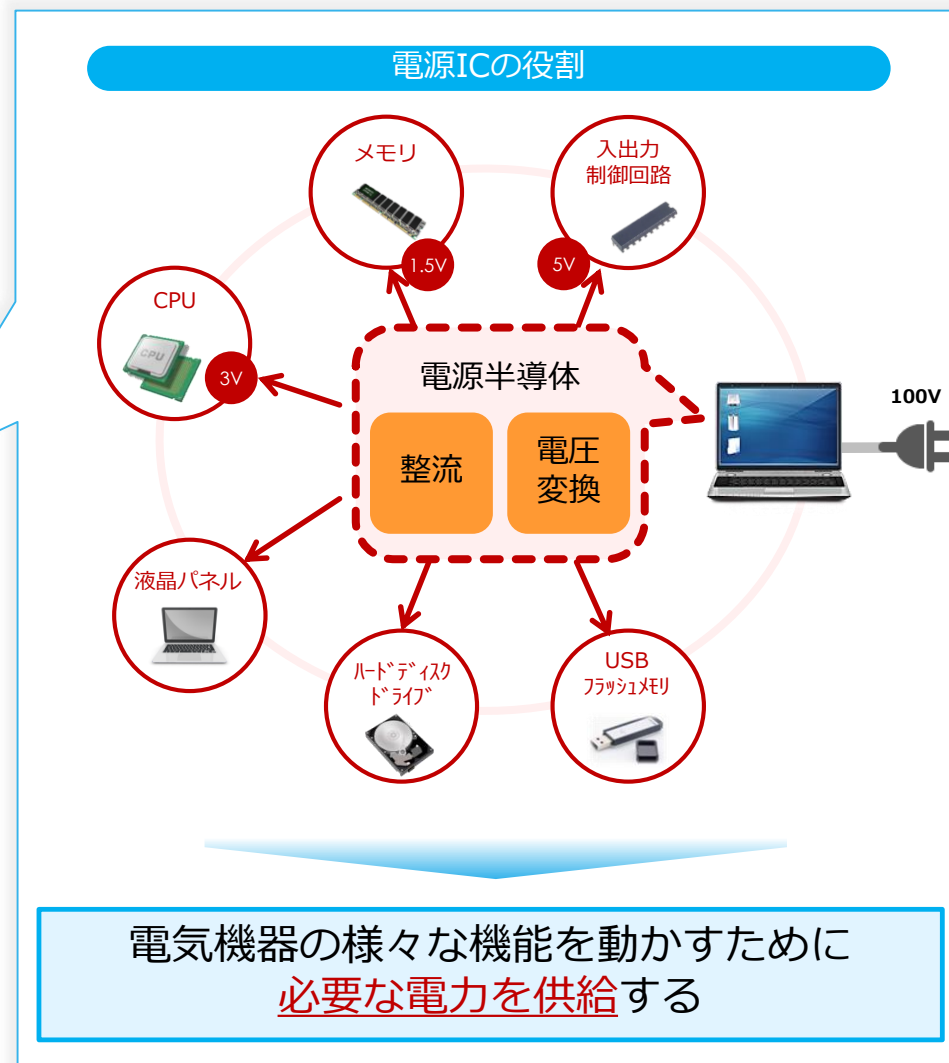
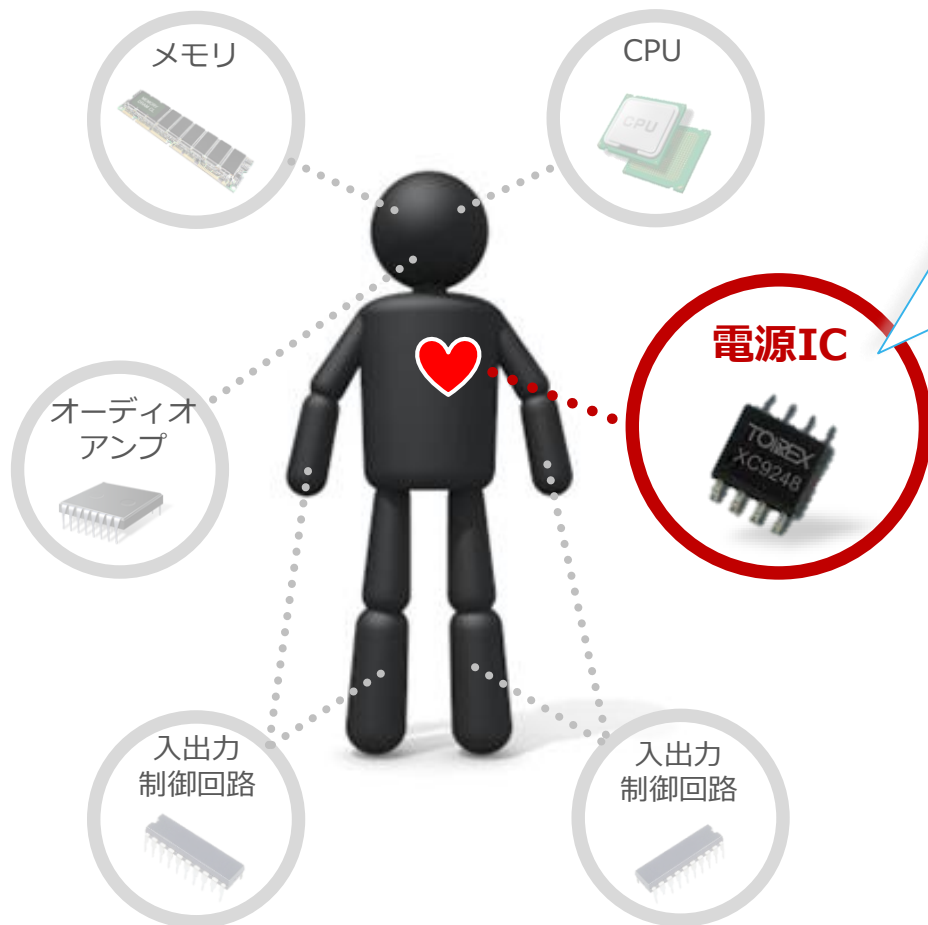
？

ファブレス？

アナログ？

✓ 電気機器の **重要な役割を担う電源IC** を開発・販売

半導体の種類 (例)



「アナログ」って必要？

電源IC？

？

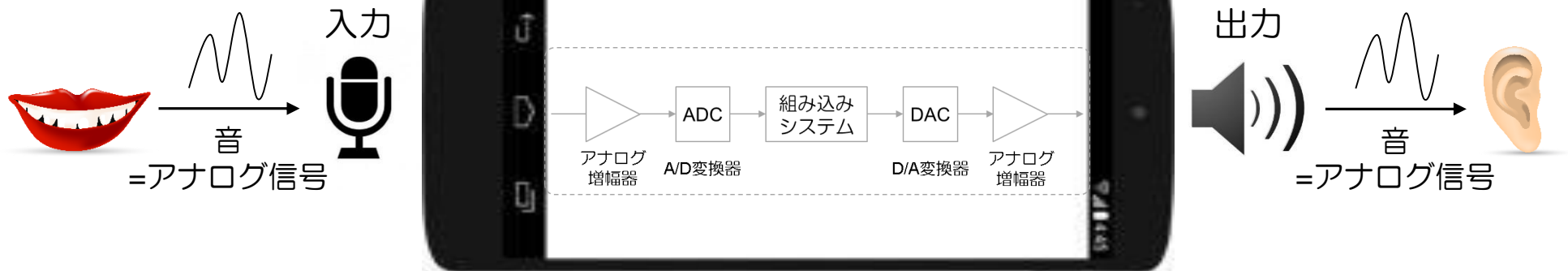
ファブレス？

アナログ？

- デジタル時代といわれている今でも、なくてはならない存在であるアナログ電源ICに特化しています。

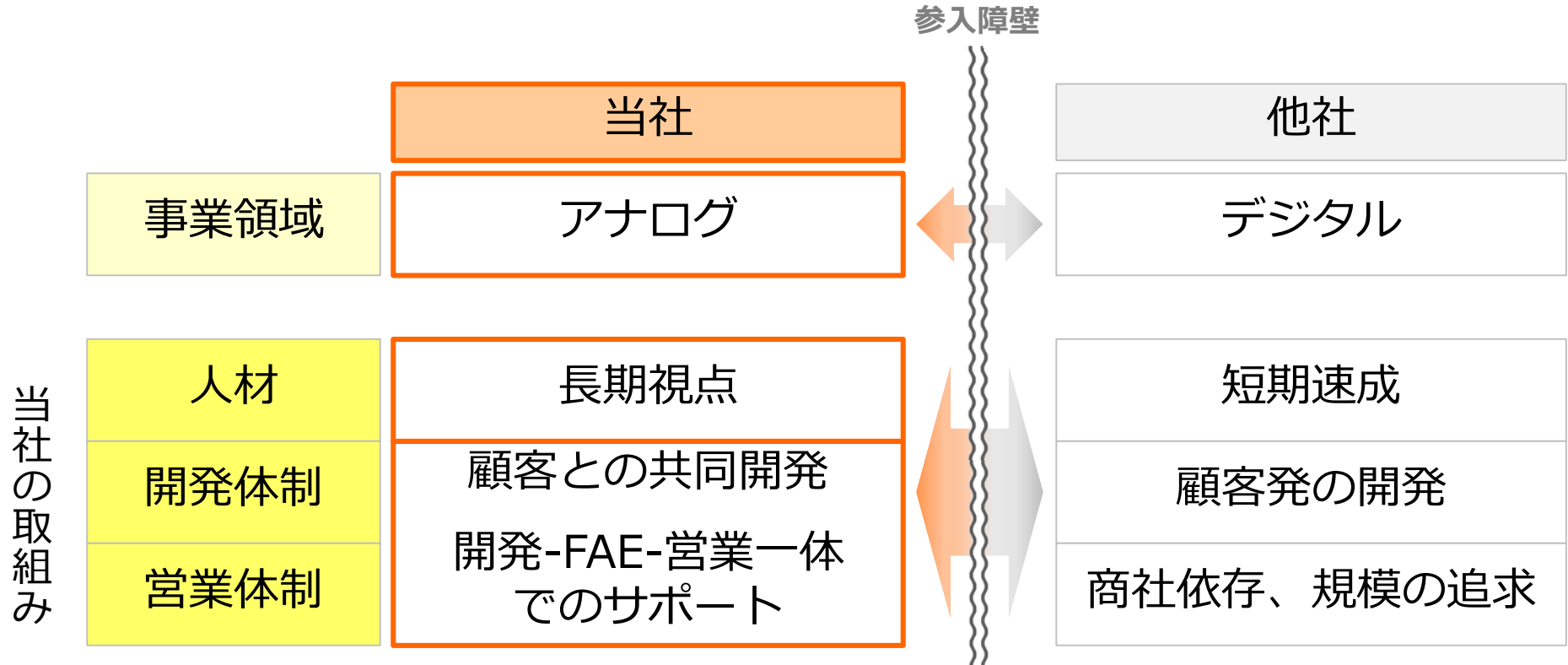
音、温度、電気、磁気、圧力など等、自然界の信号は全てアナログです。デジタル機器の中にも必ずアナログの半導体が搭載されており、デジタル化がどれだけ進んでも、アナログがなくなることは有り得ません。

例) スマートフォンの通話機能



内部はデジタルでも入出力はアナログ

●アナログ専門は国内唯一

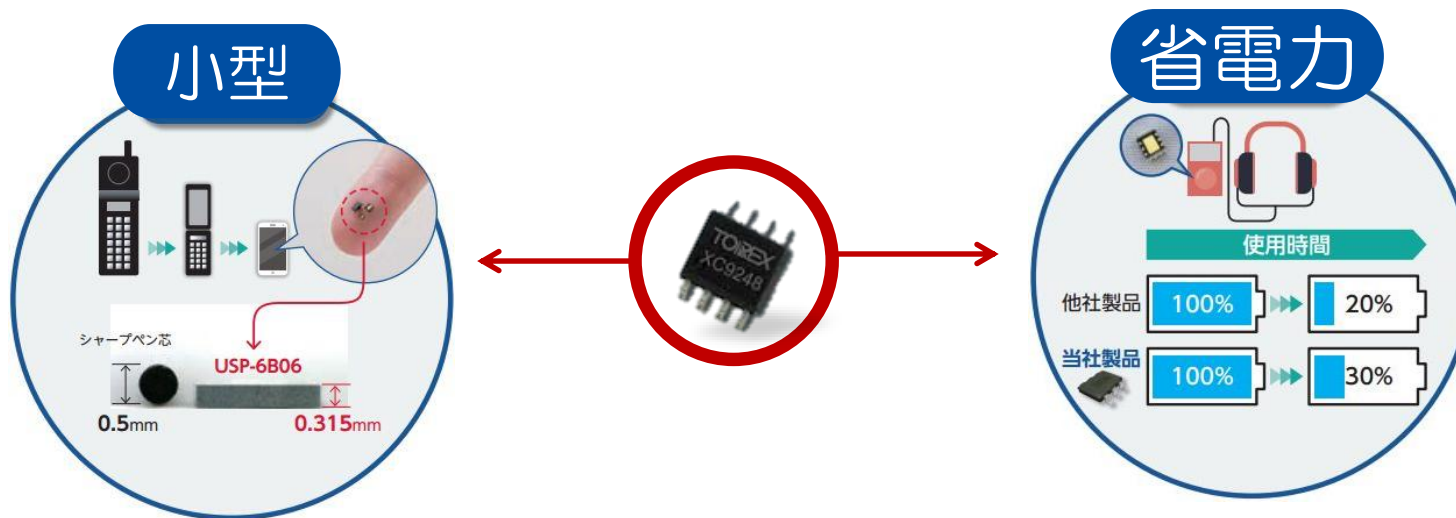


絶対に無くならないアナログ電源へのこだわり

高収益

- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

「ファブレス」の強みは？

電源IC？

？

ファブレス？

アナログ？

- ファブレス型事業形態を維持しつつ、製造パートナーをグループ内に取り込み、前工程の自社所有とファブレスのメリットを併せ持つ生産体制を整えます。

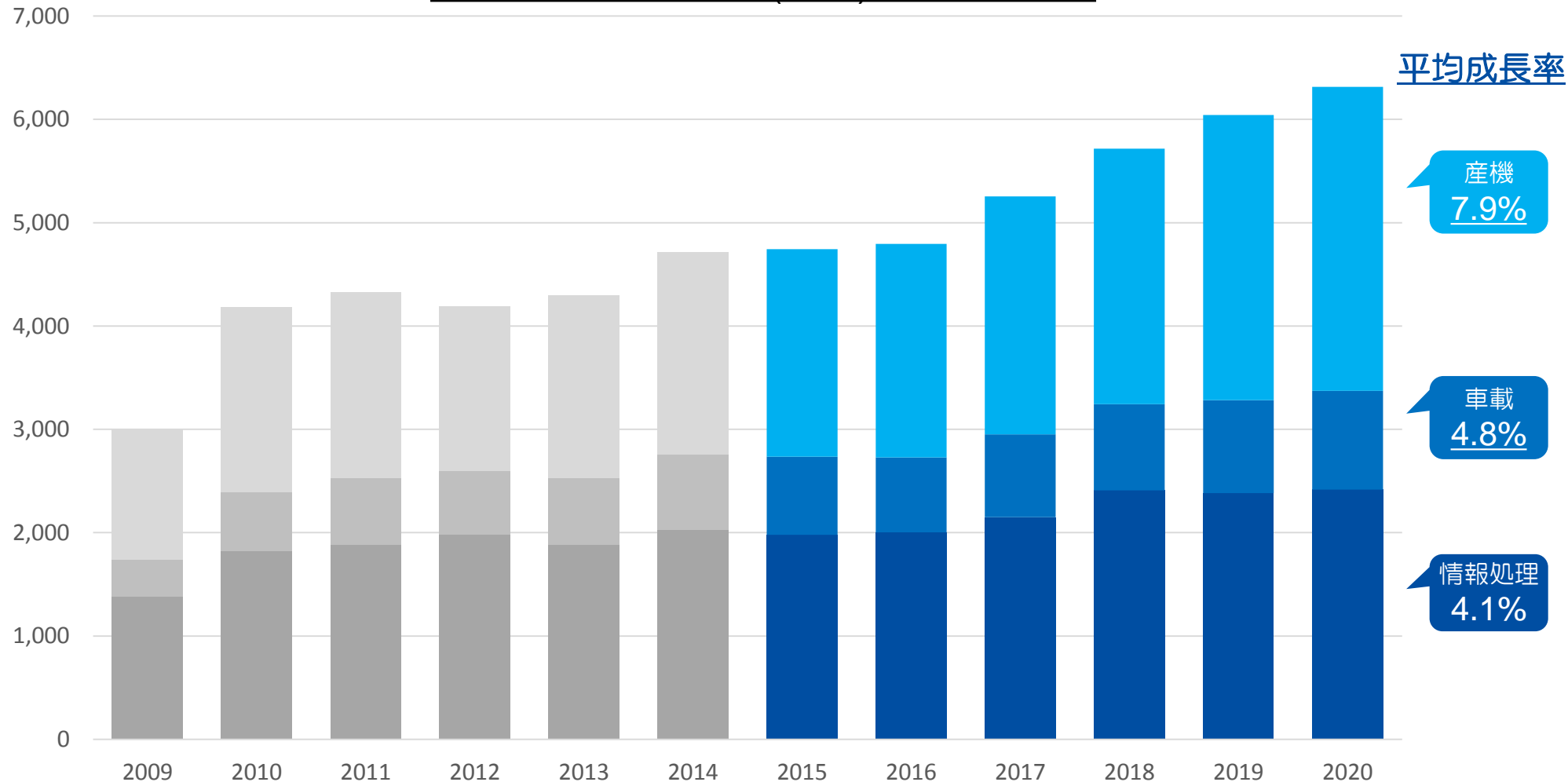
概要		選択肢	Quality	Cost		Delivery	
			製造技術/品質	原価	投資額	納期	新規プロセス対応期間
前工程	 シリコン基板に回路を作り込む	自社所有	○	△	×	○	×
		ファブレス	△	○	○	△	○

高付加価値製品を長期安定供給できる企業へ

- 世界で約1兆円市場のうち成長率の高い分野にフォーカスします。

(単位： Millions USD)

世界の電源IC分野別(抜粋)市場規模推移



【出典】 IHS Global株式会社調べ (2016年)

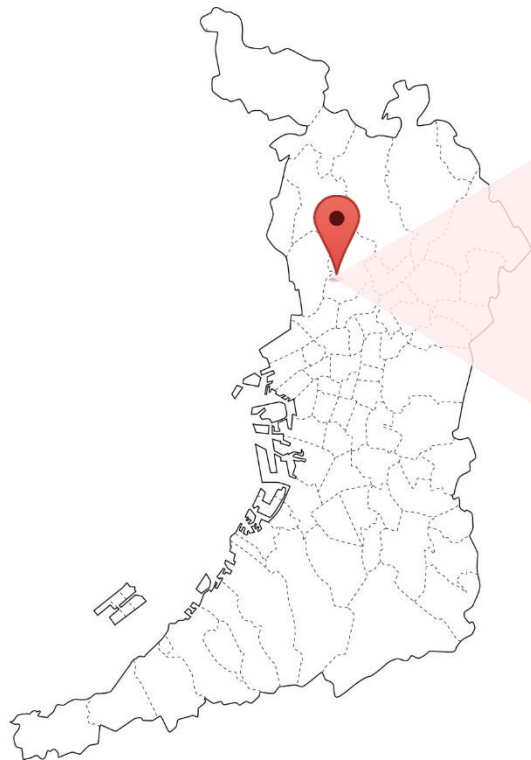
これからは、こんな分野にも

- 安全、安心、快適なくらしの追求により世界のIoTが進み、通信機能を要する分野の拡大、新しい分野での採用が増えています。

市場	アプリケーション
車載機器	
産業機器	<p>スマートメーター 監視カメラ 自動販売機</p>
ウェアラブル 医療	<p>血圧計 心拍数モニター フィットネストラッカー GPS時計</p>

市場	アプリケーション
その他	<p>テニスラケット、サッカーボール、縄跳び等のスポーツ用品</p>
	<p>ドローン スマートカード</p>

- 車載機器向けの製品開発から製品保証までを一貫する、関西技術センターを開設しました。

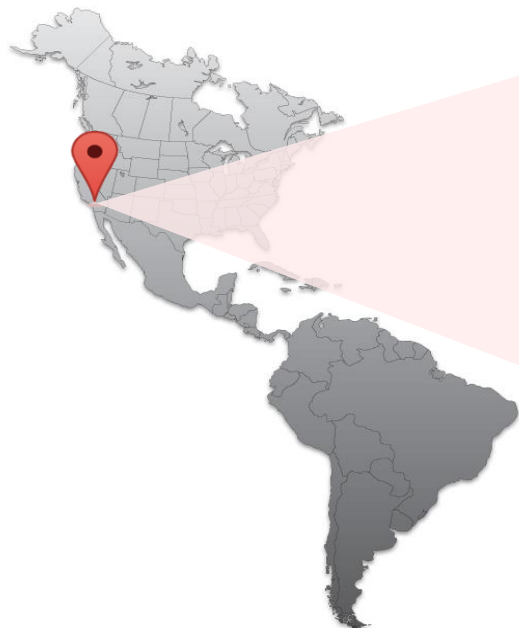


名称	関西技術センター
所在地	大阪府吹田市江坂町1丁目9番23号
開設年月	平成28年4月

狙い

車載機器向けの製品開発に重点を置き、インフォテインメント、車載カメラ、ボディー系等の用途に適した高性能アナログ電源ICの製品開発に取り組めます。

- 米国子会社 TOREX USA Corp. の研究開発拠点をシリコンバレーに開設しました。



名称	TOREX USA Corp. R&D Center
所在地	アメリカ合衆国カリフォルニア州 サンノゼ市
開設年月	平成28年4月
開設形態	TOREX USA Corp. の研究開発用 オフィスとして開設

狙い

最新の技術と優れた人材を研究開発に活かすとともに、シリコンバレーに集結した最先端企業との協業を強化することによって、当社グループの次世代を担う高付加価値製品の開発を進めます。

ここで、当社の強みをまとめます。

- ① アナログ電源ICの専門家集団
- ② 長年培った小型・低消費電力の技術
- ③ 最適な製造工程を選択できる新たなファブレスの生産体制

当社の課題は、

- ① 車載・産業機器市場攻略に向け、製品の長期かつ安定的供給体制の構築
- ② グループ内の協力体制を深め、競争力のある製造コストと納期対応の実現
- ③ グループ資産の最適化および、投資の全体最適化



昭和35年6月8日 栃木県佐野市生まれ

昭和58年3月 東海大学工学部電子工学科卒業後、阿部写真印刷(株) (現 アベイズム(株)) 入社。その後、日本プレシジョン・サーキット(株)リコー、シンコー電器(株)を経て、

平成11年7月 当社に入社し、平成14年6月に当社 取締役 営業本部長に就任いたしました。

平成21年6月 当社 常務取締役 営業本部長

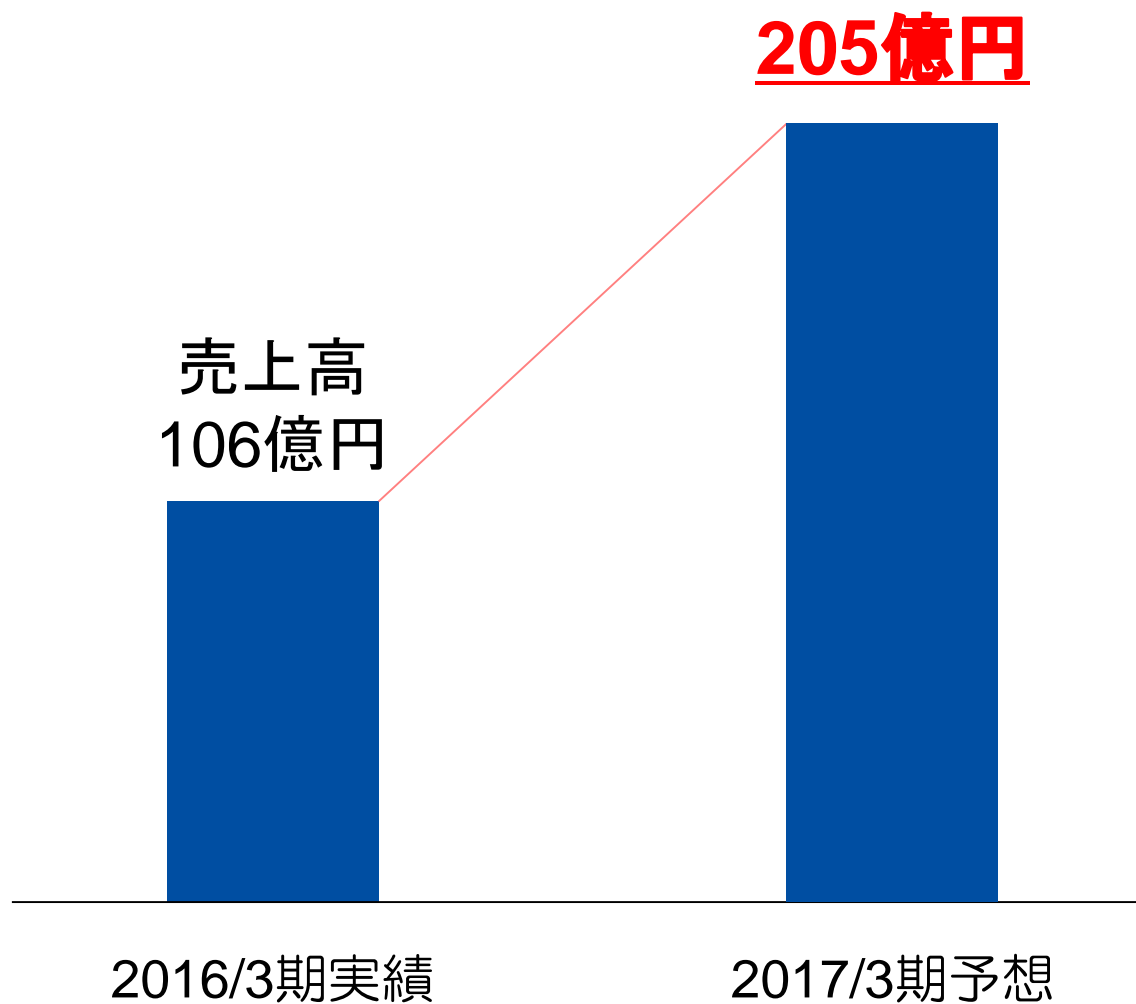
平成26年6月 当社 専務取締役 事業本部長

平成27年6月 当社 代表取締役社長に就任

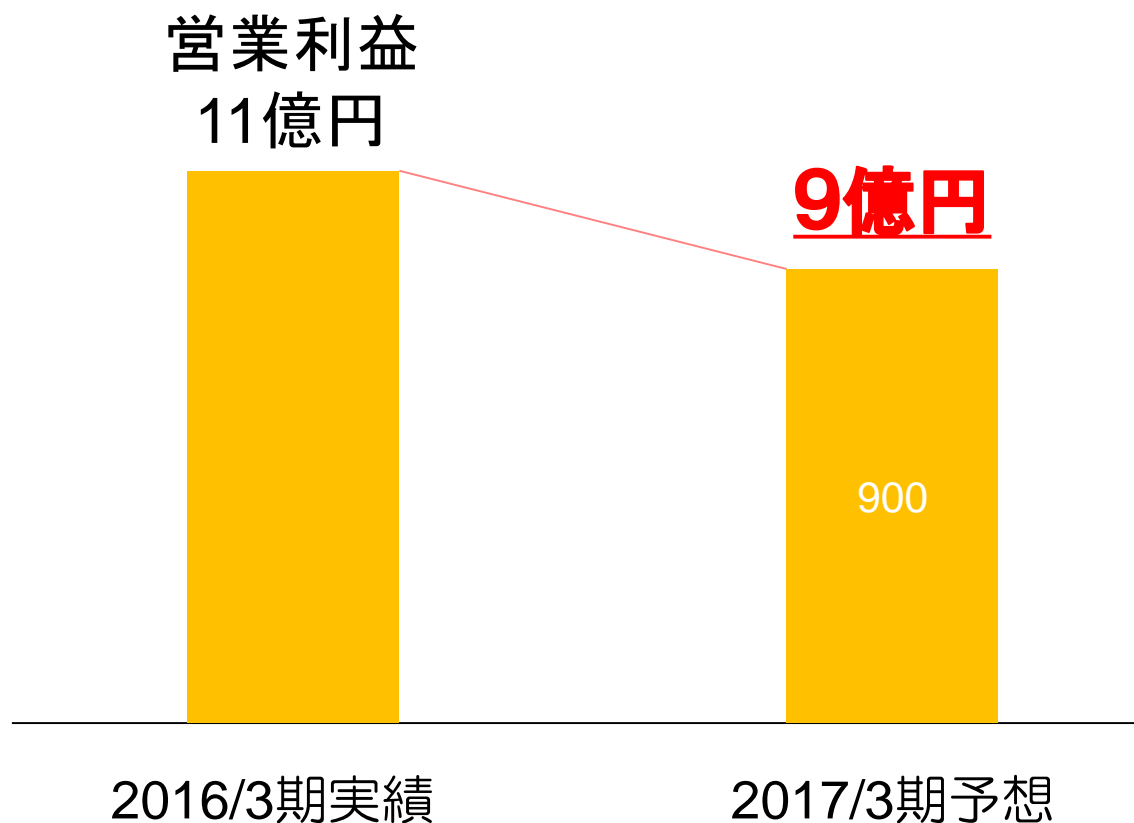


趣味：娘と食事に行くこと

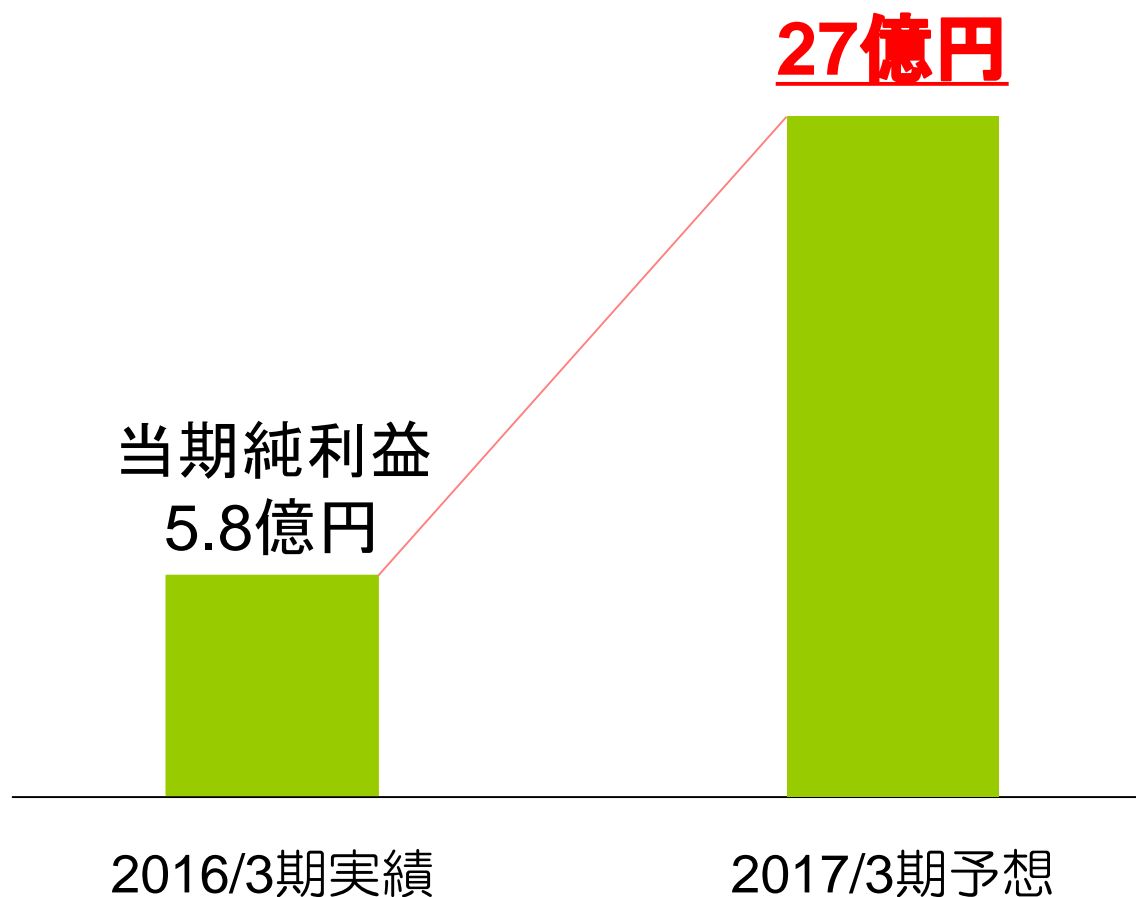
- 2017年3月期はM & Aの効果により売上規模が約2倍となります。



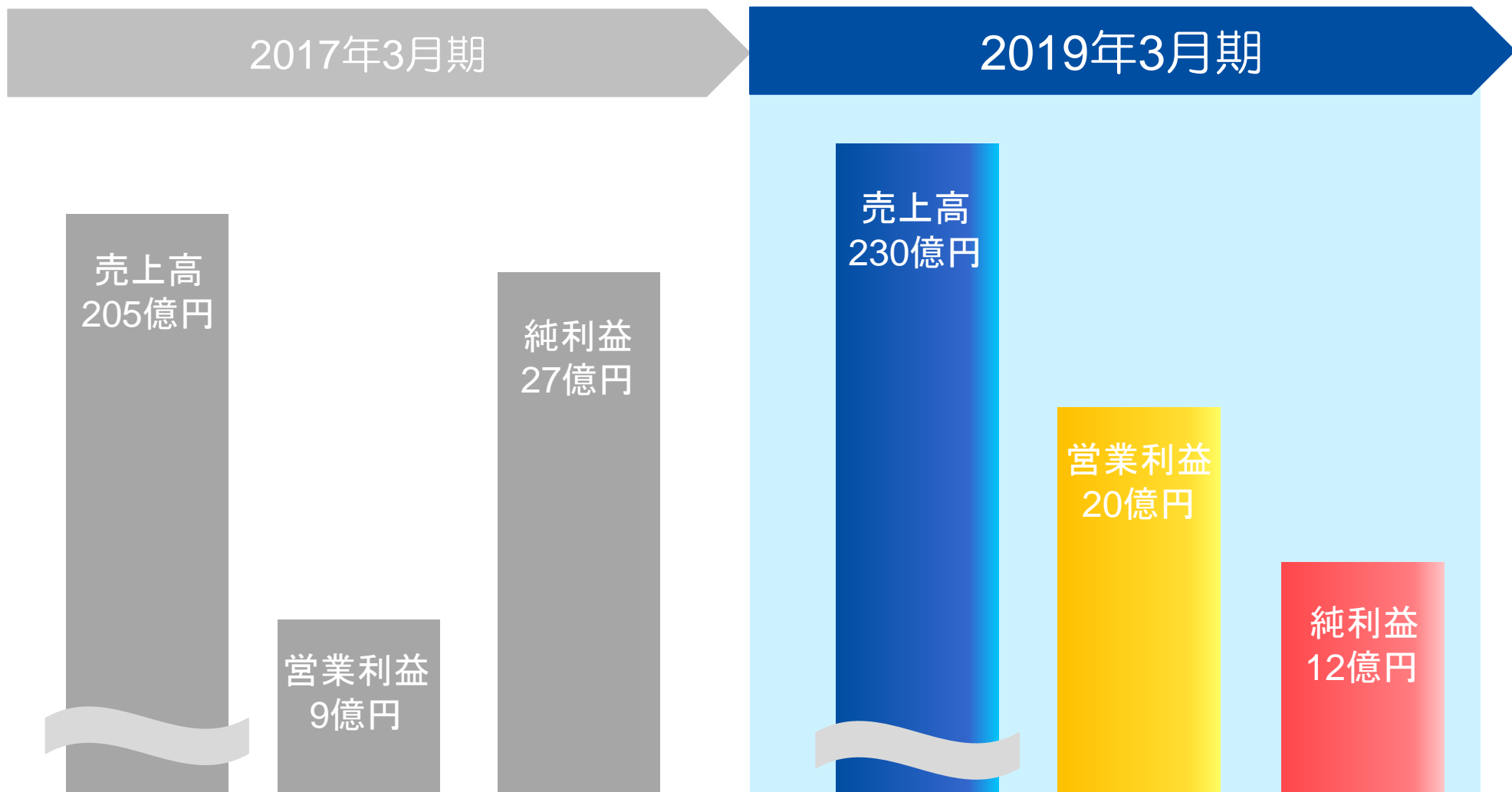
- 営業利益は円高による利益率の低下や子会社損益の低調により約2割減となります。



- 親会社株主に帰属する当期純利益はM & Aに伴う特別利益が大きく寄与します。

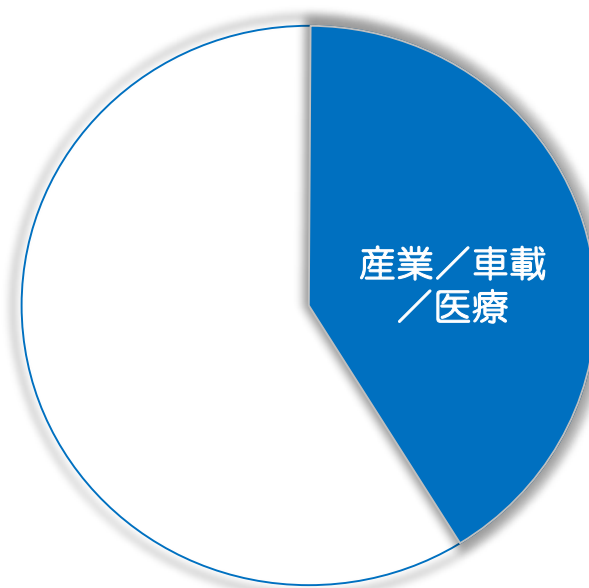
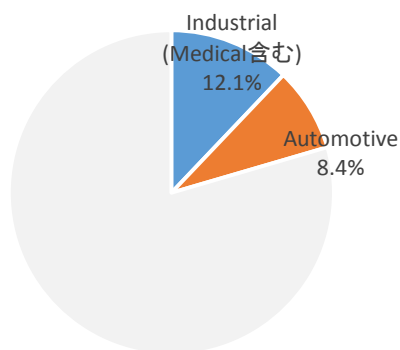


- 成長戦略を推進し営業利益で20億円の水準を達成します。

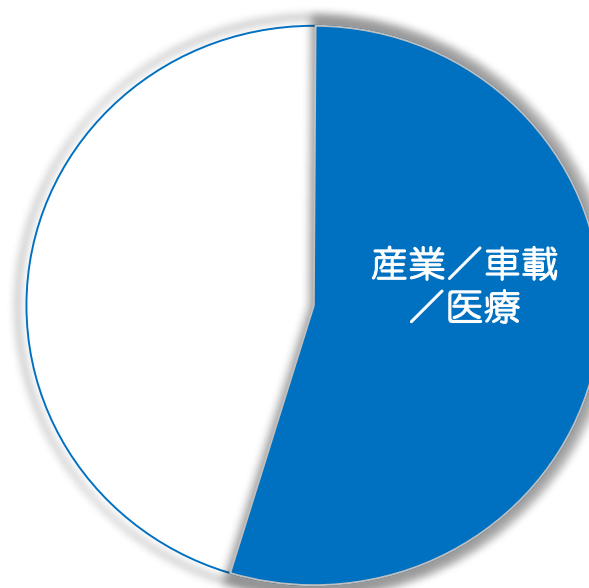


- 産業・車載・医療の3分野を重点分野と定めております。

2015年の世界市場
IHS Global株式会社

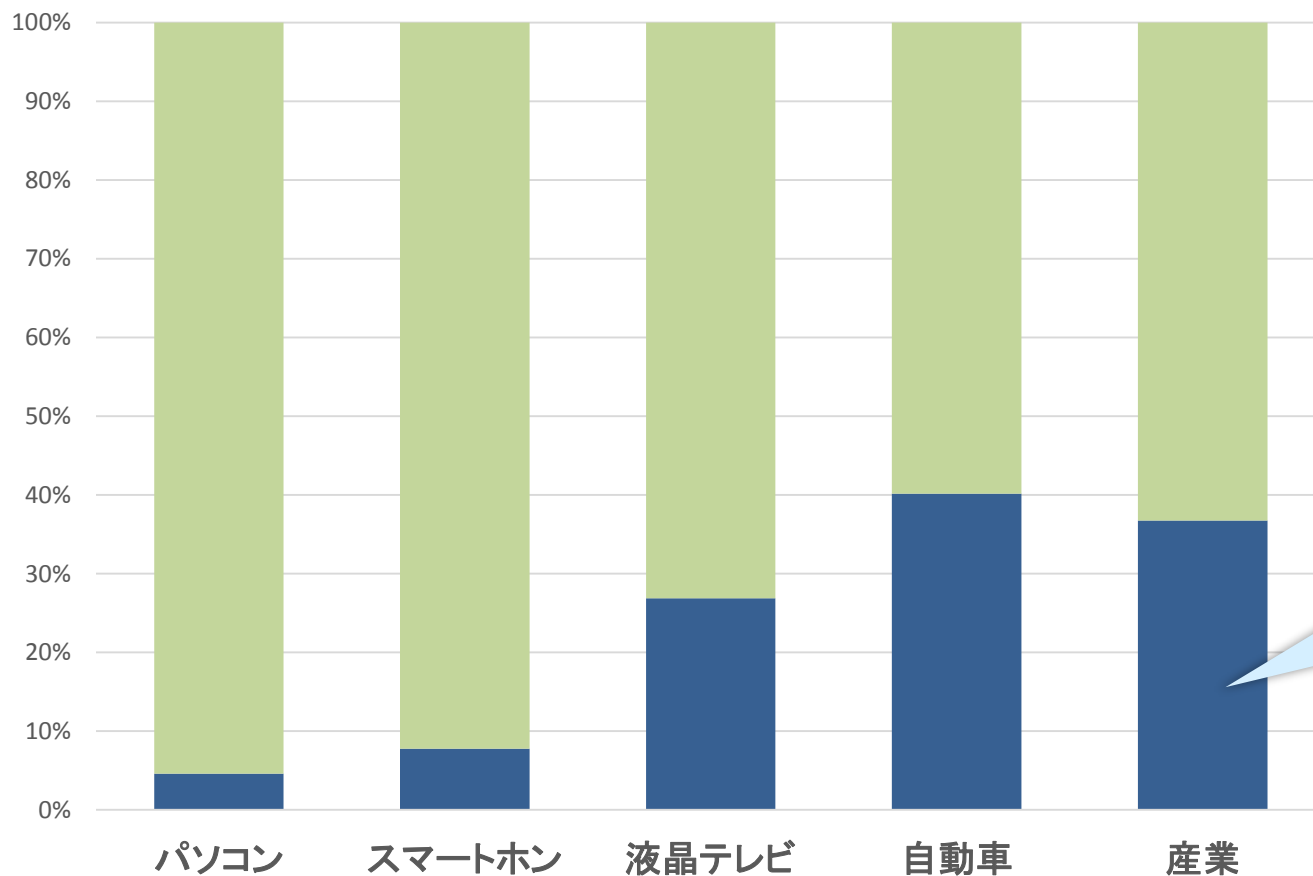


2016/3期実績



2017/3期予想

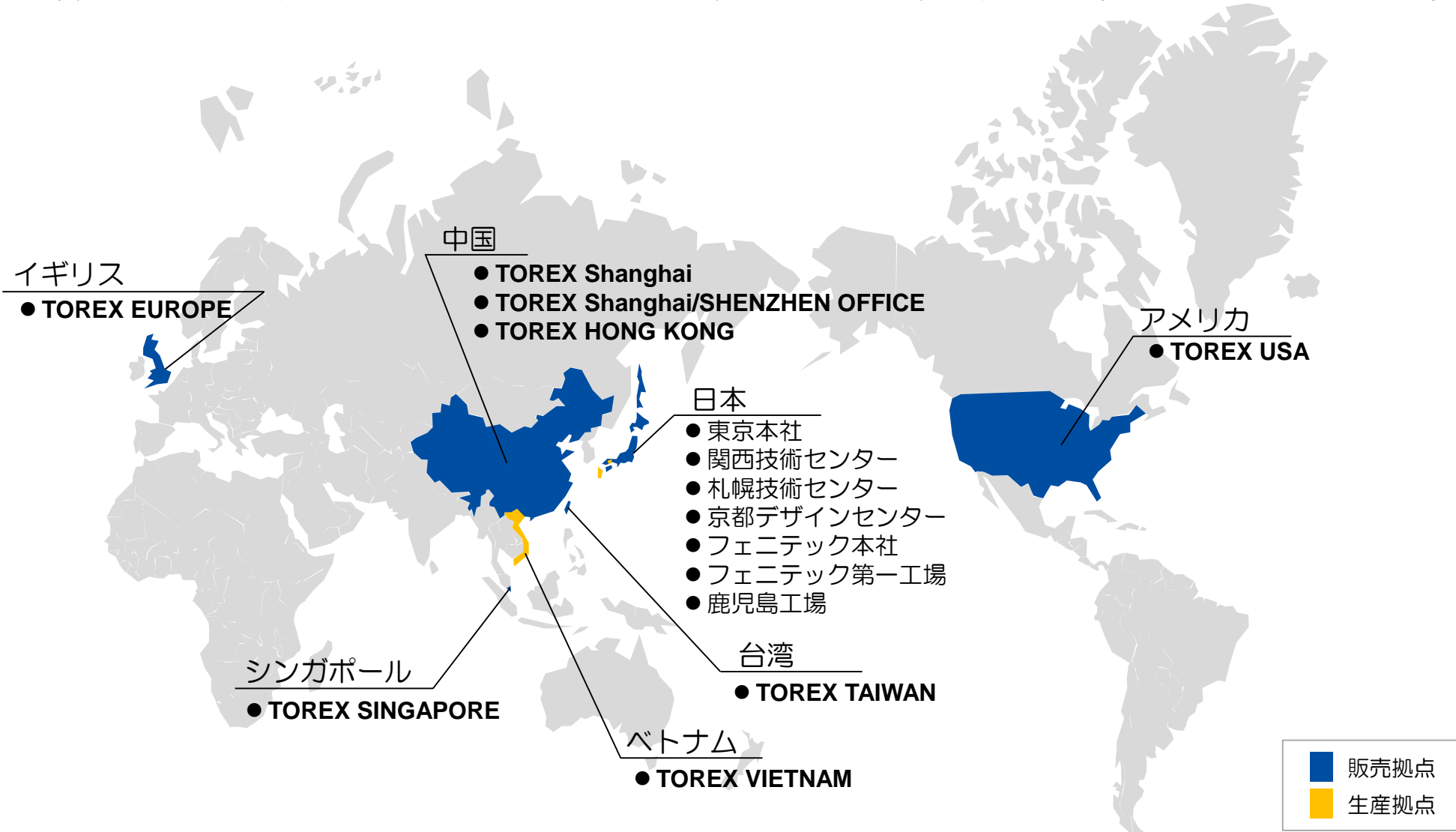
- 自動車や産業機器においてアナログIC等の重要性が高まります。



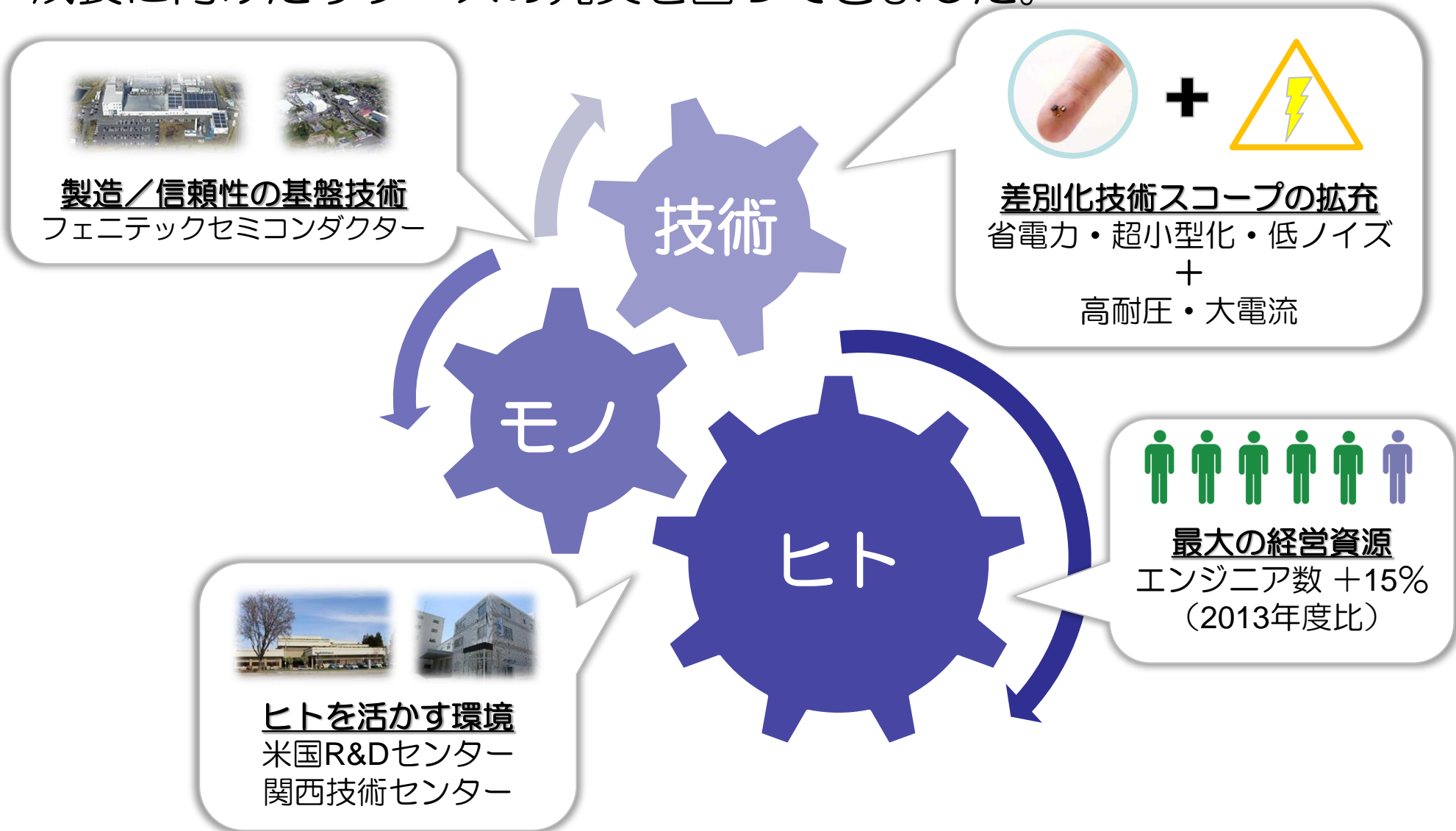
トレックスグループが得意とするアナログICやディスクリート

【出典】 IHS Global株式会社

- 顧客基盤を拡大するため欧米、特に米国市場への浸透を進めます。



- 成長に向けたリソースの充実を図ってきました。



- グループの総力を挙げて取組んでまいります。



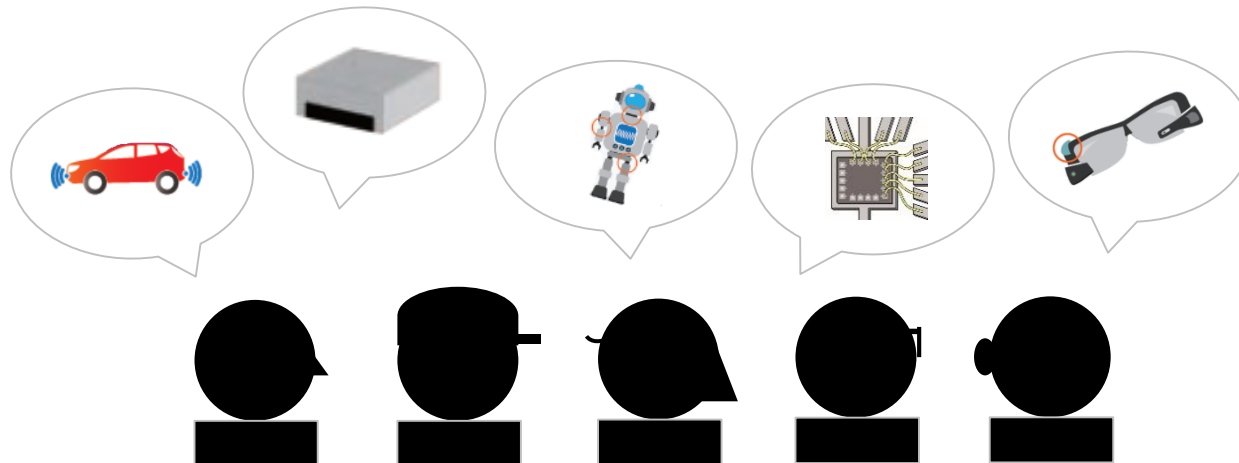
新規製品の売上創出効果1.5億円（3年後）



原価低減効果0.7億円（3年後）



既存製品の売上拡大効果2億円（3年後）



戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元の拡充として株主資本配当率（DOE）3%程度を当面の目標として実施してまいります。

1株当たり配当金			
基準日	第2四半期末	期末	年間
前期実績	16円00銭	16円00銭	32円00銭
今期 配当予想	16円00銭	16円00銭	32円00銭

当社は、平成28年11月28日に子会社フェニテックセミコンダクターが保有する当社株式の全て176万株を取得いたしました。

上記の取得株式のうち116万株を平成28年11月30日（予定）に消却いたします。これによって当社の発行済株式総数は10,651,200株（9月末現在）から9,491,200株（予定）となる見込みです。

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること



本資料に記載された内容は、2016年11月30日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。